

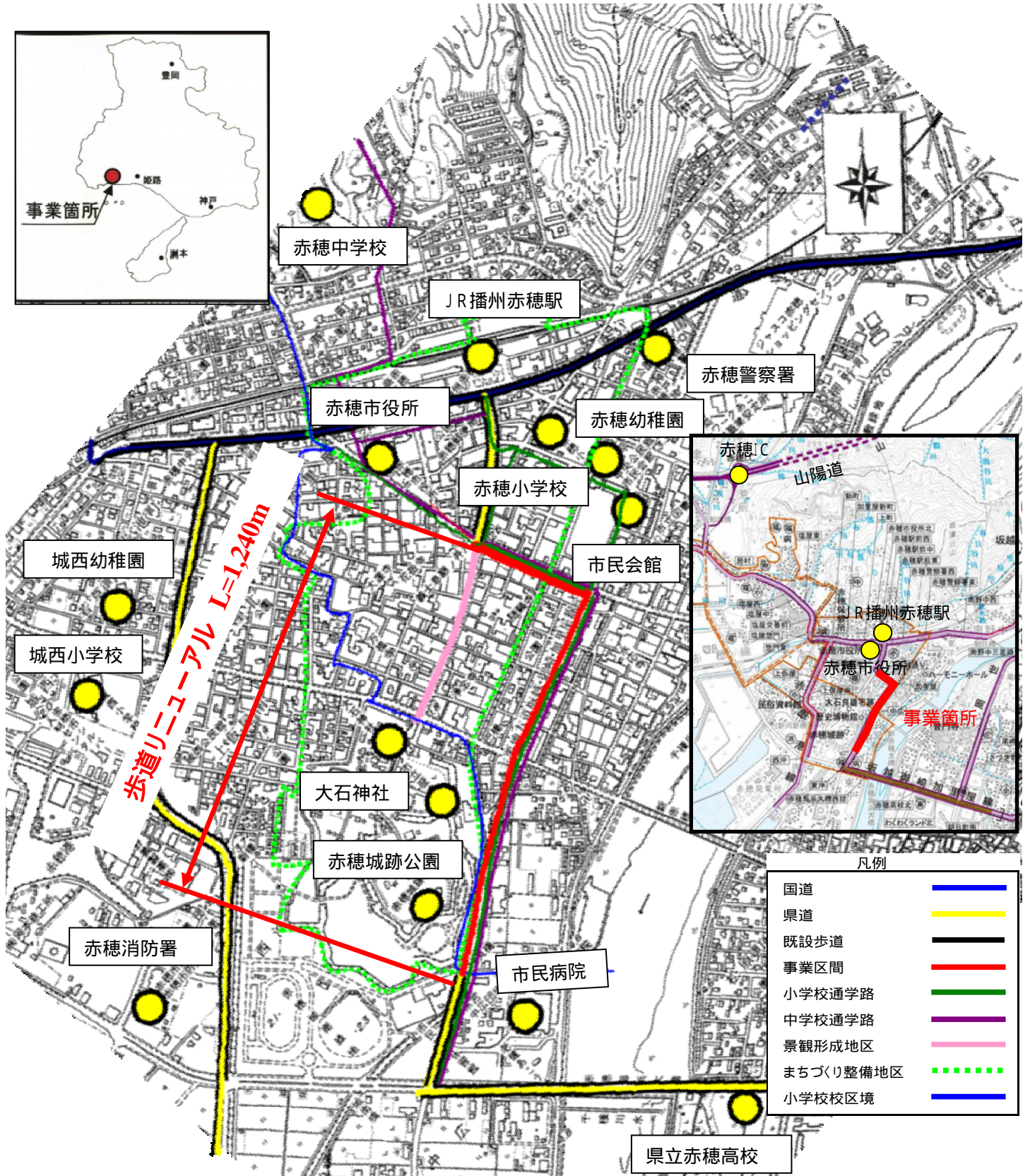
投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	道路保全課長 杠 典英 （交通施設係長 鎗水 正和）	内線	4389 （4399）
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約4.5億円
		交通安全施設等整備事業 (主)坂越御崎加里屋線	赤穂市東沖～加里屋	内用地補償費	なし
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
赤穂市東沖～加里屋 地内				平成22年度	平成26年度
事業目的			事業内容		
波打ち歩道をセミフラット化し、リニューアル化を行うことにより、誰もが使いやすい歩道空間をつくる。 また、関連事業として、電線類の地中化を行う。			歩道リニューアル整備（両側） L = 1,240 m W = 3.0m(3.5m) 現況 W=3.0m(3.5m)（両側） （負担割合 国1/2 県1/2）		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 [周辺状況]		<ul style="list-style-type: none"> 当該区間は、赤穂市の中心部に位置し、付近にはJR播州赤穂駅、赤穂市役所、赤穂小学校、市民会館、赤穂城跡公園、市民病院等が立地し、沿道は商店、住宅等が連担している。 赤穂小学校、赤穂中学校の通学路に指定されている。 「福祉のまちづくり重点地区」（加里屋地区、上仮屋地区）、「あんしん歩行エリア」（JR播州赤穂駅周辺地区）内である。 歩道はマウンドアップ形式で、出入り口等で波打ち歩道となっており、使いにくい状態となっている。 			
[交通状況]		<ul style="list-style-type: none"> 自動車、自転車交通量が多い。また、地域特性から観光客も多い。（自動車7,737台/日、歩行者242人/12hr、自転車1,153台/12hr） 			
(2)有効性・効率性 [効果]		<ul style="list-style-type: none"> 波打ち歩道が解消され、ユニバーサルデザインに配慮した歩道となる。 			
[事業執行環境]		<ul style="list-style-type: none"> 住民参加による交通安全総点検実施し（H21.04.14実施、28人参加）歩道の安全対策の必要性について地域の理解を得ている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 自転車交通量が多く、病院利用者、観光客も多いため、早期に波打ち歩道の解消を実施する必要がある。 電線共同溝を同時に施行する。 			

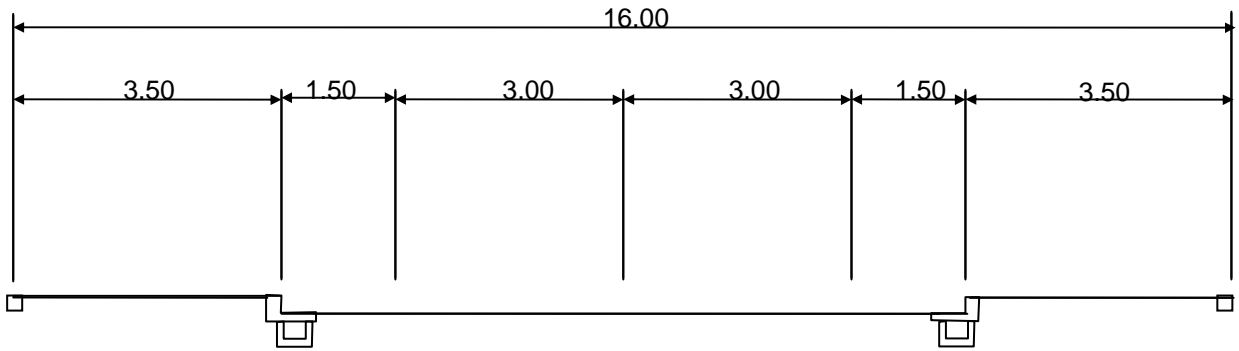
概要図

歩道リニューアル
 (一) 坂越御崎加里屋線
 赤穂市東沖～加里屋
 (交通安全施設等整備事業)

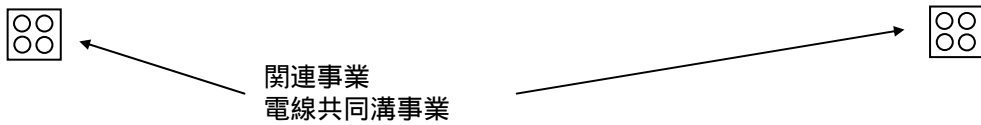
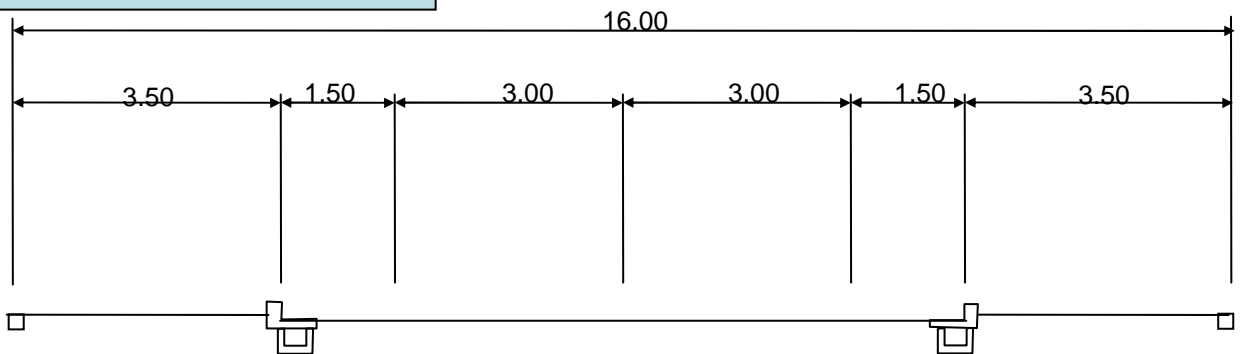


標準横断図

現況横断図



計画横断図



整備スケジュール

工 種	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
歩道詳細設計	■				
歩道リニューアル工事		■	■	■	■

歩道の波打ち・状況写真

